

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	区画道路改良事業			会計	款	項目	大	小
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路建設課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備	主管課長	小野 満寿夫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民・道路利用者	意図	区画道路における通行者及び通行車両の安全を図り、沿線住民の生活向上を図る。
事業内容	交通状況等の変化に起因する市道の拡幅改良工事である。			
事業開始から現在までの状況変化	地域環境に適応する道路整備を目標とするが、地元との整備内容の調整及び拡幅時の用地取得への協力で課題が残る。平成30年度は、木地区と東深井地区において、道路新設及び改良工事を実施した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	整備延長	0	0	198	m	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	木地区において、道路新設工事（L=48m W=10m）を実施した。東深井中学校付近の市道101号線において、歩行者通行スペースを確保する道路拡幅工事（L=150m W=0.5m）を実施した。
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,652,000	33,147,648	
事業費(b)(円)		1,296,000	29,851,648	
うち一般財源		1,296,000	29,851,648	
職員給与費(c)(円)		3,356,000	3,296,000	
人役・職員(人)		0.50	0.50	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	地元要望に応じた適正な予算確保。	③取組における課題(Check)	事業要望に対する整備内容の地元理解。
②H30に実施した取組(Do)	木地区において、道路新設工事を実施し、東深井中学校前の市道101号線において歩行者通行スペースを確保する道路改良工事を実施した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	現場状況に適した整備内容の検討